

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

***小島信久氏の乾板 KJ72125 は新彗星 1972j 発見時の乾板であった**

アーカイブ新聞 (2013年7月8日 第680号) に「小島信久氏が1975年4月6日にM51付近を撮影したフィルム3枚発見」という記事を書いたが、このフィルムはM57の腕に超新星が写っているのではないかと東京天文台天体掃索部に尋ねたもので、超新星発見ではなかったものであった。また、アーカイブ新聞 (2013年7月11日 第681号) に「小島信久氏の天体写真乾板103枚を発見」という記事を書いた。この103枚に天体写真乾板は comet hunter として名高い小島信久氏の撮影した乾板である。これらの超新星発見ではなかった失敗例の記事、また撮影者が東京天文台の観測者でなかった103枚もの乾板の記事をアーカイブ新聞に掲載してよいかお尋ねの手紙を出していたところ、掲載してよいとの返事の中に、103枚の1枚である KJ72125 は小島氏が発見された新彗星 1972j の発見の乾板であったと知らせてくださった。当時の記録 (図1)、プリントされた写真が同封されていた (写真1)。

No. 2 観測記録 1972-10-31 ~ 11/1 (火.)						
番号	目的天体	時刻	露出	感光剤	位置	備考
72121	obj. Gekrels. 2	22 ^h 42 ^m 27 ^s - 22 ^h 42 ^m 37 ^s	20"	FL OB.	23 ^h 32 ^m 0 ^s -15 ^o 05'	31.54208
72122	obj. Gekrels. 3	22 ^h 42 ^m 40 ^s - 22 ^h 42 ^m 50 ^s	20"	"	23 ^h 36 ^m 0 ^s -17 ^o 50'	31.51617
72123	obj. Gekrels. 2	22 ^h 41 ^m 10 ^s - 22 ^h 41 ^m 20 ^s	20"	"	23 ^h 32 ^m 0 ^s -15 ^o 05'	31.54424
72124	obj. Gekrels. 3	22 ^h 42 ^m 40 ^s - 22 ^h 42 ^m 50 ^s	18"	"	23 ^h 36 ^m 0 ^s -17 ^o 50'	31.57223
72125	P/G-2	04 ^h 42 ^m 20 ^s - 04 ^h 42 ^m 30 ^s	18"	"	08 ^h 43 ^m 30 ^s 8-18 ^o 53'	31.79931
72126	Sun. Grazing comet	4 ^h 42 ^m 27 ^s - 4 ^h 43 ^m 10 ^s	5"	TR. X	8 ^h 17 ^m 10 ^s -21 ^o 03'	31.81146
72127	"	4 ^h 43 ^m 47 ^s - 4 ^h 43 ^m 57 ^s	5"	"		31.81702
72128	"	4 ^h 43 ^m 57 ^s - 4 ^h 44 ^m 07 ^s	5"	"		31.82327
72129	"	4 ^h 44 ^m 07 ^s - 4 ^h 44 ^m 17 ^s	5"	"		31.83091
72130	"	4 ^h 44 ^m 17 ^s - 4 ^h 44 ^m 27 ^s	5"	"		31.83725
72131	スライド屋梁内蔵	5 ^h 42 ^m 20 ^s - 5 ^h 42 ^m 30 ^s	4"	"		31.84305
◎ 参考事項 スイセイカ. セカイニ 10 ガツ 31.79931 = 4 セキケイ 182 23 アニ 4. セキイマイナス 18 ト 527 ニ. コウト. 14 トウ. セイムニヨウ. カクアリ						
◎ 使用器械 口径 31 Cm f. 8.0 反射・屈折・Schmidt 式. オアミ. カクニヨウ. アイケツニイキケヨウ. コシマノグヒサ.						

◎ 参考事項の欄の片仮名は電文の下書きです。

(72年11月1日 午後11時30分発信)



写真1

写真の裏には、ジャコビニ・ジェンナー彗星、新彗星の位置が書かれた紙が貼ってあった(図2)。

彗星の位置	1972 KJ (コジマ)
(2000.0)	1972
	α 08h 25m 35s
	δ -19° 01' 12"
	G-Z (ジャコビニ・ジェンナー)
	α 08h 24m 52s
	δ -19° 53' 23"

図2

天体写真乾板 KJ72125 は 1972j の発見写真ですと書かれた手紙には、次のようなエピソードが添えられていた。「当時は、流星雨の出現で日本中が大騒ぎで、ジャコビニ・ジェンナー彗星も急速に南下を続けていたので、最後の記録にしておこうと、10月31日～11月1日にかけて同彗星を撮影した。図1の観測記録に P/G-Z とあるのはジャコビニ・ジェンナー彗星をねらっていたからです。朝7時30分までに現像を終え、濡れている乾板の上端に、彗星の像を確認し、乾燥のために暗室の棚にかけて仕事に出かけ、夕方帰宅して乾板を見て、朝、彗星状天体と思った天体の周囲の様子が違うことに気が付き、乾板の下端を見たところ見覚えのある星列と彗星状天体があった。1枚の乾板に2個の彗星状天体が写っていたのであった。現像後すぐに見た彗星状天体が新発見の彗星であった。ねらったジャコビニ・ジェンナー彗星が乾板の意中央にあれば、新彗星は乾板から外れていて新発見はなかったであろう、本当に幸運でした。新彗星の位置に星雲がないことを確認して、新彗星として東京天文台に電報を打った」。図1の記録の下端に電文が書かれている。アーカイブ新聞 681号に掲載した KJ72125 が写真2である。

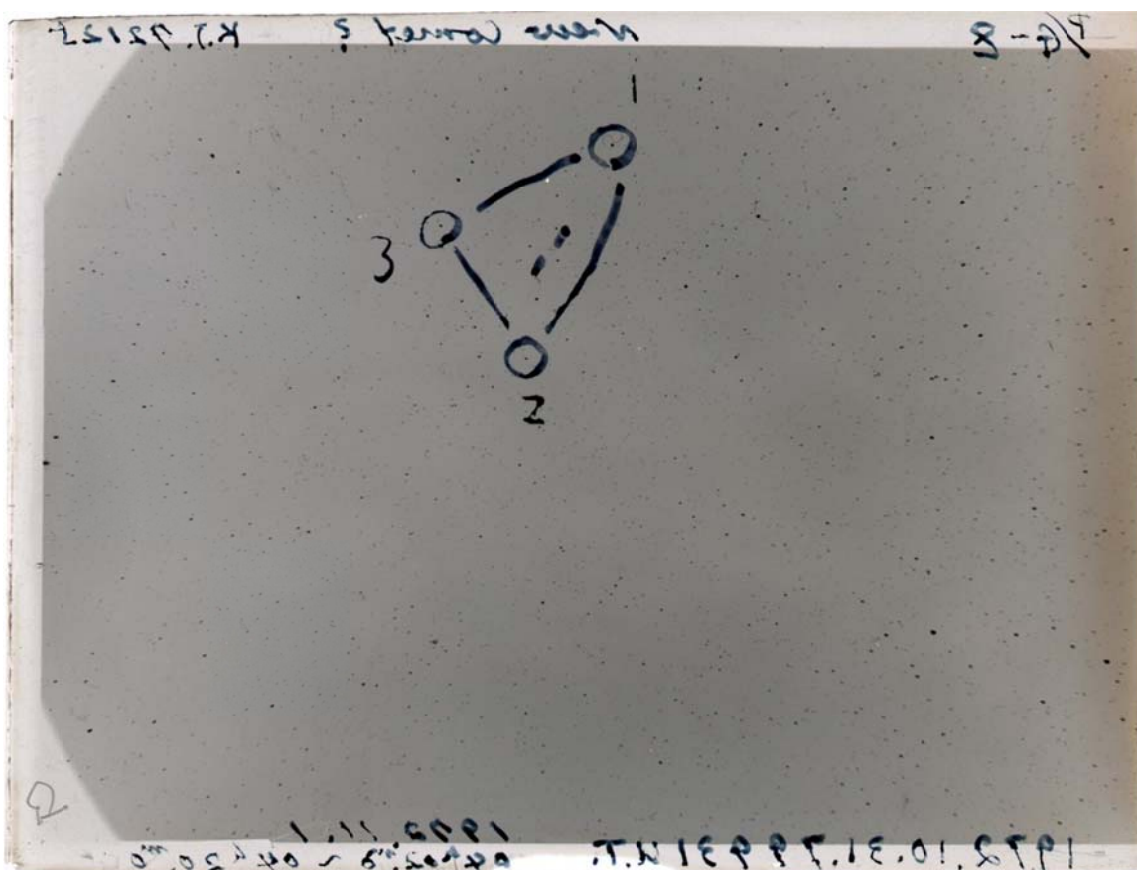


写真2 KJ 72125

写真2のKJ72125の新彗星1972jの部分を拡大したものが写真3、ジャコビニ・ジェンナー彗星の部分を拡大したものが写真4である。



写真 3



写真 4

写真 3 の中に彗星状天体を確認すること筆者にも可能であるが、写真 4 の中に彗星状天体を確認することは神業としか言いようがない。コメットハンターの真髄を見た感がある。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp